

心豊かでたくましい児童生徒を育む
小中一貫教育をめざして

シリーズ えでゆれば

Vol. ⑤

先月の三戸中学校 丸岡校長のインタビューにもあったように、小中一貫教育を進めていく上では、全ての教職員が「9年間子どもを育てる」という意識を高める必要があります。今年度は町内全ての教職員がグループごとの会議を7回、各学校の授業交流発表を4回開催することになっています。

◆各部会の開催

第1回学習指導部会 6月1日(水)

国語、社会、算数・数学、理科、英語、立志科、技能教科に分かれて検討しました。

確かな学力の定着と豊かな人間性を養い育てるため、9年間で何をどのように指導するか、学ぶ意欲を高めるためのノート指導はどうあるべきか、板書とノートの使い方について工夫できないかなど、小・中学校で共通して取り組むべきことや、子どもの発達に応じて段階

を設定すべきものなど、9年間の指導計画づくりのために様々な観点から話し合いました。

第1回養護教諭部会 6月1日(水)

健康診断の実施方法や調査票の様式など、施設一体型小中一貫教育での保健室経営について検討したほか、生活リズムの向上に向けた継続的な取り組みについて話し合いました。

◆授業交流会の開催

第1回小中一貫教育授業発表会の開催

6月28日(火)には斗川小学校で授業交流発表会が開催されます。これは、三戸町の小中一貫教育の特徴である「立志科」「英語科」などの授業をお互いに公開し、効果的な指導方法の研究や課題を解決するために行うものです。

小中一貫教育学校建設工事の状況

現在、小中一貫教育学校建設のための敷地造成工事を行っています。

敷地造成工事に引き続き、平成24年3月までの工期で高等部(中学校2・3年生)校舎の建設工事を実施します。

工事期間中、三戸小学校付近は工事車輛の通行が増加し町民のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、交通安全対策には万全を期して



敷地造成工事の状況

高等部校舎建設工事

- ・工 期 平成23年6月～平成24年3月
- ・施工業者 東洋建設(株)東北支店
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
- ・建築面積 1,993.91㎡
- ・床面積 3,685.91㎡
- ・施設概要 中学校2・3年生普通教室
特別教室、多目的ホール等